



避難所などで、皆さんが普段飲んでいるお薬を処方してもらう時、どんなお薬なのか正確に薬剤師さんに伝えることはできませんか？

☆「色は覚えてる。確かピンクだった!」:

実はそれは薬の入っている包剤の色で、お薬自体の色は白だったということもあります。

☆「血圧の薬です」: 血圧の薬にはたくさんの種類があり、避難所で処方された降圧剤ではなかなか血圧が安定しなかった、ということがありました。

☆「薬の名前を言えます!」: 実は名前だけではお薬を特定することは困難なことがあります。

**お薬の3要素**  
 名前・剤形（錠剤かカプセルかなど）規格（容量、何ミリグラムのものかなど）が分かる

ないと、お薬の特定は難しい!のだそうです。なので、普段からお薬手帳の携帯を心がけたいものです。ですが、「お薬手帳はかさばるので、持ち歩くことは大変」という声も聞かれます。透析患者さんや低肺で酸素を吸ってみえる方、パーキンソン病の方などはそれぞれの特性にあわせたカード（病状や医療機関名、お薬の情報が書き込める）をつくられて、利用してみえます。これなら、財布に入れて持ち歩けるので、忘れることなく携帯できるとのこと。また薬局で毎回もらえる薬の説明等が書かれた用紙をかばんに入れていく人もいます。

うら

患者カード	
全国友の会	支部名
	患者名
私はパーキンソン病の治療を受けております。服用している薬は以下の通りです。	
記入日	平成 年 月 日
薬剤名	服用量
特記事項（災害時に望む対応・必要な援助など）	
医療機関	
診察券番号	
主治医	
連絡先	

おもて

防災患者カード	
一般社団法人 全国パーキンソン病友の会	
記載年月日	平成 年 月 日
携帯者情報	
氏名	血液型 型
住所	
生年月日	大・期・平 年 月 日
連絡先	
私の携帯	
[ ]高齢者医療被保険者証(後期の方は【】使う)	
保険者番号	
被保険者番号	
特定疾患医療受給番号	
病名	パーキンソン病【ヤール】1・2・3・4・5
介護保険証番号	
介護度	要支援1・2 介護1・2・3・4・5
私の連絡場所	

▲パーキンソン病友の会のカード